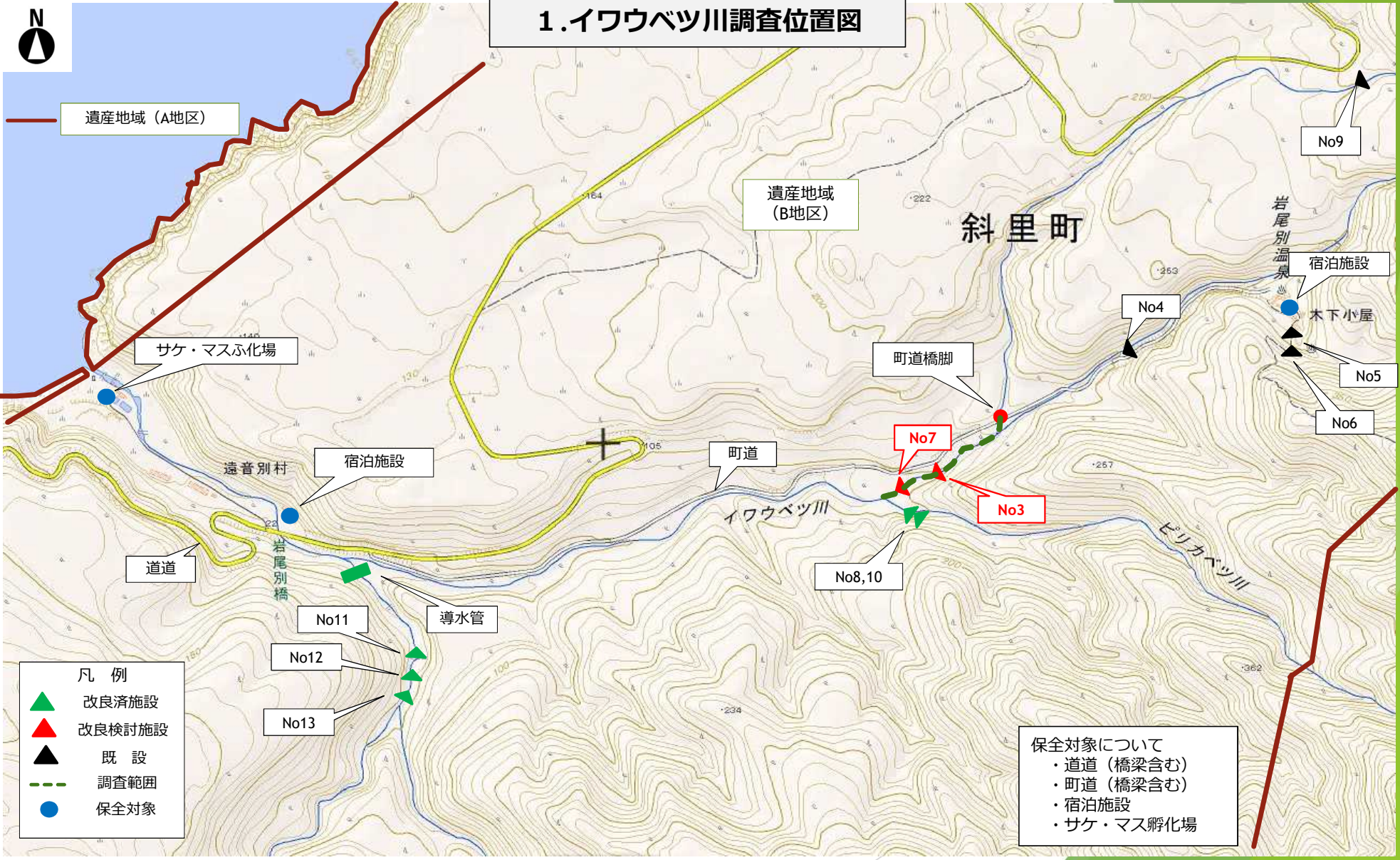


イワウベツ川No3・No7治山ダム改良検討について

林野庁北海道森林管理局
網走南部森林管理署



1.イワウベツ川調査位置図



遺産地域 (A地区)

遺産地域 (B地区)

斜里町

サケ・マスふ化場

遠音別村

イワウベツ川

ヒリカベツ川

岩尾別温泉

宿泊施設

宿泊施設

木下小屋

町道橋脚

道道

町道

凡例

- ▲ 改良済施設
- ▲ 改良検討施設
- ▲ 既設
- 調査範囲
- 保全対象

- 保全対象について
- ・ 道道 (橋梁含む)
 - ・ 町道 (橋梁含む)
 - ・ 宿泊施設
 - ・ サケ・マス孵化場

2.改良検討箇所の現状（振り返り）

<災害履歴>

- ☞ 昭和54年、56年には「激甚指定」される災害が発生しており、溪流には過去の災害で流下したと思われる巨礫が堆積している。



昭和56年災害
ホテルの被害状況

<保全対象>

- ☞ 道道、町道、宿泊施設、孵化場が存在する。



保全対象
道道及び橋梁



保全対象
サケ・マス孵化場

<地元要望>

- ☞ 斜里町より「知床100平方メートル運動におけるイワウベツ川の復元事業」にある、サケ科魚類の自然復元を推進するため、遡上障害となっている治山ダムへの改良要望がある。



サクラマスの放流

<治山施設の現状>

- ☞ 3号ダム(S41)は施設の老朽化、7号ダム(H7)はダム前面の洗掘等が見られることから、改良検討に当たっては施設の健全性を調査する必要がある。



3号ダム

7号ダム

3.令和2年度の主な調査

調査項目	目的	調査内容	進捗状況等
1 河川縦横断測量	改良予定箇所の溪流の現況を把握する。	イワウベツ本流とピリカベツ川合流点を起点に上流へ町道橋脚までの延長約500mを測量する。	縦断測量は7月に実施済み。
2 産卵環境調査	改良前後の産卵適地の変化を把握する。	上記測量調査を同じ区間で、縦断方向5mピッチで1mの間隔で横方向にコドラードを設置し、石礫のレンジごとに取りまとめ等を行う。	9月中頃に実施しデータの取りまとめ中。
3 既設ダム現況調査	ダム改良にあたっては、現施設が健全である必要があるため、3号ダム、7号ダムの老朽化等による健全性の判断及び補修方法検討のため。	目視等による施設の亀裂、損傷状況等の確認、必要によりコンクリートを採取しての強度確認等を実施する。	9月中頃にコンクリートを採取し強度等の試験等及びデータの取りまとめ中。

4.今後のスケジュール

R2(2020)

第2回河川AP

<改良工法（案）の議論>

本年度の調査結果の報告と併せて複数の改良工法検討（案）を提示し、河川工作物AP会議の場で助言を得て、改良工法（案）を決定する。

R3(2021)

第1・2回河川AP

<具体的な設計（案）の議論>

前年度の会議で決定された工法について詳細な実施設計に着手する予定。

第1回・第2回AP会議では、詳細設計の内容等と、設計を実施していくにあたり、問題点等が浮かび上がってきた場合には、課題を整理し会議の場で助言を受ける。

R4(2022)以降～

<改良工事に着手の予定>

改良工事の実施にあたっては、必要な各種法令手続き及び、地元自治体と連絡・調整を行いながら実施する予定。